

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	ライフスタイル小委員会		主 査 名：定行まり子 就任年月：2010 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (住宅計画運営委員会)		委員長名：松村秀一 主 査 名：菊地成朋
設 置 期 間	2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	住宅建築は、そこに住む人々の生活のあり方に規定されていることから、生活者自身を知ることが重要である。そこで、個人や家族の生き方や生活のあり方に注目した研究活動をおこなうために、ライフスタイル小委員会を設置する。 2 年間に渡り、「少子高齢社会における家族のゆくえと住まいのこれからー共同・協働と住まい」をテーマに活動を進める。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 定行まり子 (日本女子大学) 大橋寿美子 (湘北短期大学) 佐々木誠 (日本工業大学) 小池孝子 (日本女子大学) 浅沼由紀 (文化女子大学) 宇杉和夫 (日本大学) 加茂みどり (大阪ガス) 稲葉修 (三井ホームデザイン研究所) 花里俊廣 (筑波大学) 山崎さゆり (田園調布学園大学) 中山和美 (東京電力) 妹尾理子 (香川大学) 牧野唯 (奈良女子大学) 番場美恵子 (昭和女子大学) 岡崎愛子 (住宅総合研究財団)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	190,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料 等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セ ミナー・研究会・見 学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と 得られた成果との関 係)	テーマに沿って、震災により個人や家族の生き方、生活のあり方がどのように影響を受けたか、委員による研究発表、外部講師によるレクチャーを通して情報共有・討議を行い、今後の方向性を探る上で有用な知見を得ることができた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. シンポジウム成果の一般への還元手法の検討 2. (1. と関連して) HP 公開による一般への情報提供の検討